

瀬戸大橋

四国にある香川県坂出市と本州の岡山県倉敷市をつなぐ瀬戸大橋は、現代建築工学の偉業です。この橋は、上層が車用、下層が鉄道用の二層の橋をつなげた構造になっており、世界最長の二層橋です。瀬戸内海の塩飽諸島上にかかるこの橋の長さは、約 12km。1978 年から 1988 年にかけて、10 年近くの年月をかけて建設されました。香川出身の政治家、大久保諶之丞（1849–1891）が本州と四国を結ぶ橋の構想を提案してから、およそ 1 世紀後のことでした。橋はフェリーの定期便に取って代わり、ツーリズムと地域経済に多大な恩恵をもたらしました。瀬戸大橋を車で横断するには約 15 分かかりますが、これは四国の坂出駅と岡山の児島駅間を電車移動するのと同じくらいの時間です。高いところが平気なら、訪問客は瀬戸大橋スカイツアーに参加して橋についての詳細を学ぶことができます。ガイド付きツアーでは、参加者は巨大建築の内部に入り、JR 瀬戸大橋線線路のすぐ隣にある管理用通路を通して、海上 175m 高さの塔の頂上へ登ることができます。この 2 時間ツアーは春と秋の特定日程に開催され、事前予約が必須となっています。